

- 白ネギは収益性の高い水田転換作物として生産者及び面積が増えつつあるが、**調製作業は労働時間の半分以上を占め**、高齢者の多い農家にとって負担が大きい作業となっている。
- このため、平成22年から効率的で快適な調製作業になるよう、労働負担軽減のための改善を図り、産地の維持発展と所得向上を目指している。
- 調製作業の実態調査結果を各戸に返すことにより、**我が家の問題点が認識され**、改善につながった。

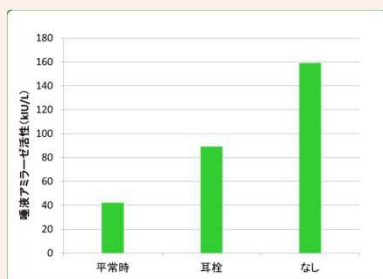
### 具体的な成果

#### 1. **我が家の問題点が認識され、改善につながった**

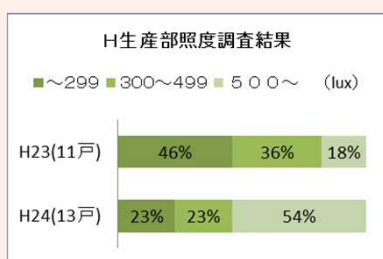
- 29戸の実態調査を行い、調査結果を返すことで、問題点が認識された。
- 調査実施農家29戸のうち約半数の16戸で作業環境改善が行われた。
- 改善実施農家からは、作業がしやすくなった、楽になったなどの感想が聞かれた。

#### 2. **快適な作業環境への関心が高まった**

- 徐々に質問が出るようになり、自分の体験談、改善例を紹介するなど、意識向上につながった。
- 防音保護具の着用効果が確認できた。



#### ■ H生産部では**明るい作業場が増加**



### 普及員の活動

#### 【平成22年～】

- 毎年新たな対象の重点農家を選定し、調製作業の実態調査を実施
- 実態調査の結果、良い点、問題点を提示し、改善に向けて支援

#### 【平成22年～24年】

- 台車を活用し、作業改善を支援
- **新規栽培者向け「出荷調整作業マニュアル」を作成**。新規栽培者講習会で配布し、作業場準備に向けて支援
- 唾液アミラーゼ測定による防音保護具の着用効果の確認

#### 【平成24年～】

- 白ネギ集荷場の実態調査と改善支援

### 普及員だからできたこと

1. 地域に密着した普及指導員だからこそ、優良事例、工夫事例を収集し、マニュアルを作成したり、紹介することができた。